

| | | | |
|--------|-----|-----|--------|
| 開講期間 | 配当年 | 単位数 | 科目必選区分 |
| 前期 | 2 | 1 | 選択 |
| 担当教員 | | | |
| 村田 トオル | | | |
| 火1、火2 | | | |
| 添付ファイル | | | |
| | | | |

| | |
|---------------------------|---|
| 科目の概要 | 「子どもの生活は遊びである」と言われるが、幼児期の子どもの遊びは身体活動を伴うことが多い。そして、これらの身体活動を伴う遊びは、子どもの心身の発育・発達に大きく関与している。本授業では、幼児期の子どもにとっての運動遊びとは何か、また、運動遊びの指導はどのように進めていけばよいかなど、単に動きの指導や遊びを考える指導に留まらず、心身の発達を視野において保育活動の一環としての運動遊びの指導ができる内容とする。 |
| 授業の内容 | <p>1回目 ボールを使った運動遊び 幼児期の運ぶ・転がす・投げる・受ける</p> <p>2回目 ボールを使った運動遊び 幼児期のつく・蹴る・打つ</p> <p>3回目 身体感覚を養う運動遊び 幼児期の跳ぶ・跳ねる・いろいろなジャンプ</p> <p>4回目 鉄棒を使った運動遊び 幼児期のぶら下がる・ゆれる・回る・前回り降り・足抜き回り・逆上がり</p> <p>5回目 縄・輪・棒を使った運動遊び 幼児期の短縄跳び・長縄跳び</p> <p>6回目 縄・輪・棒を使った運動遊び 幼児期の跳ぶ・潜る・回す・引く</p> <p>7回目 年代別リレー遊び 走力向上を目指したプログラム体験</p> <p>8回目 マット・跳箱・平均台を使った運動遊び 前転・後転・倒立・側転</p> <p>9回目 マット・跳箱・平均台を使った運動遊び 開脚跳び・閉脚跳び</p> <p>10回目 サーキット 大型器具であるマット・跳箱・平均台を使った運動遊び</p> <p>11回目 サーキット 身近な器具を使った運動遊び</p> <p>12回目 多種多様な鬼ごっこ 発達に応じたルールについて学ぶ</p> <p>13回目 親子体操指導法 未就園児と保護者の体操指導法について学ぶ</p> <p>14回目 実技試験（前半） 指定された種目について試験を行う</p> <p>15回目 実技試験（後半） およびまとめ 指定された種目についての試験および全体のふりかえり</p> |
| 学習到達目標 | <p>1. 実技実習によって各種運動能力を高め、各技能の獲得過程から、子どもの補助ならびに援助の仕方を学び、指導力を身に付ける。</p> <p>2. 器具・用具の配置や使い方を工夫し、安全面や発達段階や運動課題の難易度を配慮して、運動遊びを構成できるようにする。</p> |
| 授業の方法 | ルール作り、楽しめる環境構成、安全配慮等について実習を行う。 |
| 成績評価の方法 | 授業への参加態度70% 実技試験30% |
| 教科書・テキスト | 適宜配布する。 |
| 参考書 | 特になし。 |
| 授業時間外の学修について（事前・事後学習について） | 積極的にからだを動かせる習慣をつけるとともに、日頃から子どもたちの健康や心身の状況についても観察することを望む。 |
| 履修上の留意事項 | 初回に指示した内容にしたがって履修すること。 |
| オフィスアワー | 月～木の昼休み |

| | |
|----------------|----------------------------|
| 担当教員への連絡 方法 | tmurata@osaka-aoyama.ac.jp |
| その他 | |